

役員改選

理事長に田中健藏氏を再選、学園の役員・評議員を改選

任 期満了に伴う福岡学園の理事・監事・評議員の改選が7月19日および8月3日に開催された理事会、評議員会で行われました。理事長には田中健藏氏が、常務理事には水田祥代氏および本田武司氏がそれぞれ選任されました。8月3日以降の新役員体制は次のとおりです。

- 【理事】(12名) 田中健藏、水田祥代、本田武司、北村憲司、栢豪洋、荒川規矩男、宮口巖、小島寛、厚谷彰雄、田代英雄、大石秀雄、長谷宏一
- 【監事】(2名) 安倍徹、長友泰明
- 【評議員】(27名) 田中健藏、北村憲司、栢豪洋、小島寛、厚谷彰雄、香月俊博、本山久美子、石橋慶憲、水田祥代、本田武司、中島興志行、中山宏明、池邊哲郎、荒川規矩男、田代英雄、大石秀雄、長谷宏一、染矢廣美、朔啓三郎、前原喜彦、松田峻一良、熊澤榮三、宮口巖、武井俊哉、吉田公典、高橋裕、松浦正朗

青野常務理事ご退任

青野一哉常務理事が8月2日付で退任されました。青野常務理事は昭和53年4月福岡歯科大学教授に就任後、平成9年から2期6年にわたって福岡歯科大学長として、平成15年から常務理事として、本学園の発展に尽力されました。



メッセージ
昭和53年4月以来、33年5カ月にわたり、田中健藏理事長はじめ皆様から、ご指導とご支援をいただき大変ありがとうございました。
今後、福岡学園全体のさらなる発展と皆様のご健康とご活躍を祈っております。

水田理事(前客員教授)が常務理事に就任

8月3日の理事会で、水田祥代理事(前客員教授)が常務理事に選任されました。任期は平成23年8月3日から平成26年8月2日まで。同氏は平成20年4月本学客員教授に就任、平成22年から本学園の理事・評議員も務められています。



メッセージ
このたび常務理事を拝命いたしました。微力ながら福岡学園の益々の発展、とくに福岡歯科大学がフロントランナーである口腔医学の学問体系の確立へ向けて努力したいと思いますので、ご指導ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

青野一哉常務理事への送別の辞

青野先生は、昭和53年4月に福岡歯科大学麻酔学の教授としてご着任以来、教授として18年10月、その後、平成9年2月から6年間福岡歯科大学長、学長任期満了後の平成15年2月から常務理事として8年7月の計33年5月の永きに亘り、教育・研究・診療、そして法人の管理運営に大変ご尽力を頂きました。

教授時代には、麻酔・全身管理の知識と技術を有する歯科医師の育成に努められるとともに、周術期の代謝、交感神経系の反応および輸液管理の研究を通して医学、歯学の発展に寄与され、多くの日本歯科麻酔学会認定医を育てられました。また、平成6年4月から約3年の間、情報図書館長を務められ、学内LANの導入並びにホームページの製作にも力を注がれて、今日の情報環境の基盤を築いて頂きました。

福岡歯科大学長在任中は、カリキュラム改革、国家試験対策、学生指導などの歯学教育改革を率先して推進され、歯科医師国家試験合格率の上位定着に多大な貢献をされたほか、教員組織改革として、従来の教養、基礎、臨床の枠組みを取り払い、より効果的、効率的な6年貫の教育環境の実現を目指した組織づくりに取り組まれ、平成13年4月からの大講座制移行を成し遂げられました。また、平成9年4月の福岡医療短期大学の開学に当たっては、初代学長を兼任され、先導指揮をとって運営の円滑化を図り、保健福祉学科増設にも手腕を発揮されるなど、大変感謝をいたしております。

これらのご功績を振り返りますと、何れも今日の学園にとっては欠くことの出来ない取り組みであり、先生の高い見識と着実な実行力、そして誠実なお人柄があったからこそ成し得たものと心から敬意を表し、感謝を申し上げる次第です。

学園の将来の発展を願い、社会の要請に応えることの出来る有能な人材育成を目指して、共に数多くの困難を乗り越えてきましたことが、大変懐かしく思い出されます。

そのような博學多才な先生が学園から去られることに大きな寂しさを拭きませんが、今後とも奥様ともどもご自愛のうへ、益々ご健勝にてご活躍になることを心より念じて、送別の言葉といたします。

青野一哉先生、永い間本当にありがとうございました。

学校法人福岡学園

理事長 田中健藏

